

第 2 期江田島市総合戦略 進捗管理表

※年度終了前のため、本資料の令和3年度実績値は見込数値である。(確定値ではない)

基本目標 I 地域で暮らすためのしごとをつくる。

- 基本目標 I については、令和3年度の想定人口効果の計画値 36.03 人に比べ、実績見込値は 32.53 人であり、▲3.5 人少なくなっています。
 ○目標値を達成できなかった項目は、ほぼ新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。
 ○プロジェクト 4 の①(若年層の求職登録者数)は、目標値の半数以下と、特に低調な結果となっています。



プロジェクト1 しごとをつくる・しごとの場を確保する。

	指標	令和3年度			R3~R7 合計 想定人口効果 計画値	備考(計画未達理由等)
		KPI 実績見込値(計画値)	想定人口効果 実績見込値(計画値)	結果		
①中小企業・小規模事業経営の専門家による相談	新規相談件数	48 件 (60 件)	0.95 人 (1.19 人)	×	5.95 人	コロナ対応の優先による減
②オフィスなどの誘致	事業者の来訪件数	15 件 (15 件)	0.24 人 (0.24 人)	○	1.20 人	
③創業者支援	創業件数	7 件 (4 件)	2.17 人 (1.24 人)	○	6.20 人	
④新規漁業就業者研修制度の活用	研修会(勉強会)の実施回数	— (—)	0.000 人 (0.000 人)	—	0.008 人	今年度は関係機関との調整を実施
⑤新規就農者研修制度の活用	研修修了者数	1 人 (1 人)	2.95 人 (2.95 人)	○	26.51 人	
⑥学校給食における直接契約による地産地消の推進	取扱件数	6 件 (—)	0.13 人 (0.00 人)	○	0.08 人	
⑦子どもたちが「漁師のしごと」を知る機会の提供	教室の実施回数	4 回 (1 回)	— (—)	○	—	
⑧農地活用希望者のマッチング	貸付面積	0.4ha (0.5ha)	0.97 人 (1.22 人)	×	6.10 人	マッチングは3件あり
計			7.41 人 (6.84 人)	○	46.05 人	

プロジェクト2 しごとで稼ぐ。

①果樹の産地形成と維持継続	苗木の助成本数・講習会の開催	1,031 本 (1,600 本) 18 回 (12 回以上)	1.22 人 (1.88 人)	×	9.40 人	柑橘の改植が少なかったことや新たな担い手不足による減
②6次産業化、高付加価値化の取組への支援	えたじまブランド認定品の増加数	1 件 (1 件)	6.550 人 (6.549 人)	○	32.749 人	
③漁場基盤の整備	整備箇所・放流魚種	2 種類 (2 種類)	0.00 人 (0.00 人)	○	0.60 人	
④えたじま牡蠣のプロモーション強化	実施回数	3 回 (—)	0.12 人 (0.00 人)	○	0.48 人	PR 冊子や動画作成等を実施
⑤ふるさと納税制度を活用した地場産品の販売促進	ふるさと納税の返礼品の増加数	1 件 (1 件)	0.13 人 (0.13 人)	○	0.65 人	
⑥市内事業者と都市圏人材の交流促進	事業者の来訪件数	3 件 (5 件)	0.03 人 (0.04 人)	×	0.20 人	コロナによる来訪の減
計			8.05 人 (8.60 人)	×	44.08 人	

プロジェクト3 お客を呼び込む。

①新たな宿泊観光関連施設の整備	ホテル宿泊者数	7,200 人 (7,240 人)	10.48 人 (10.53 人)	×	118.48 人	コロナ禍にあって、メディア露出等によりほぼ達成
②観光戦略チーム「一歩」による体験型観光メニューの造成	新規体験観光メニュー数	3 件 (3 件)	2.12 人 (2.12 人)	○	10.60 人	
③縁のある民泊生徒へのアプローチ	再来訪人数	— (—)	0.000 人 (0.000 人)	○	0.068 人	オンラインによる事後交流等も念頭に ICT 研修を実施
④市外イベントでの江田島市の PR	市外イベントへの参加回数	5 回 (6 回)	0.30 人 (0.36 人)	×	2.39 人	コロナによるイベントの中止による減
⑤魅力ある観光情報発信の再構築	「えたじまものがたり 博覧会」の情報発信件数	25 件 (30 件)	1.84 人 (2.21 人)	×	12.83 人	コロナにより PR が困難であったための減
⑥簡易宿所営業許可等の認可取得サポート	許認可取得者数	— (—)	0.00 人 (0.00 人)	○	4.72 人	制度説明会を開催
計			14.74 人 (15.22 人)	×	149.09 人	

プロジェクト4 しごとと人をマッチングする。

①若年層への市内企業の紹介や就職情報の提供	若年層の求職登録者数	13 件 (30 件)	2.33 人 (5.37 人)	×	31.12 人	全体的な求職登録者の減少
計			2.33 人 (5.37 人)	×	31.12 人	

【基本目標 I・想定人口効果】 令和3年度実績見込値 32.53 人(計画値 36.03 人) ▲3.5 人

基本目標Ⅱ 人の流れをつくり、縁を有する人を増やす。

○基本目標Ⅱについては、令和3年度の想定人口効果の計画値 27.49 人に比べ、実績見込値は 18.94 人であり、▲8.55 人少なくなっています。
 ○目標値を達成できなかった項目は、ほぼ新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。特に、プロジェクト3の④（体験型修学旅行）の実績数が大幅に見込みを下回りました。
 また、プロジェクト4の③（まちづくり実践者発表会）は、人を集めた開催が出来ませんでした。
 ○プロジェクト1の①②（島暮らしのプロモーション等）は、サイトの閲覧数が想定より大幅に上回りました。
 ○なお、施策の見直しを踏まえ、プロジェクト2の②については、類似事業への変更を行います。（「お試し暮らし住宅」→「現地視察支援」）



プロジェクト1 知ってもらい、興味を持ってもらう。

	指標	令和3年度			R3~R7 合計 想定人口効果 計画値	備考（計画未達理由等）
		KPI 実績見込値(計画値)	想定人口効果 実績見込値(計画値)	結果		
①島暮らしのイメージづくりとプロモーション	HP 閲覧数, ポスター閲覧数	HP44,690件(1,000件) ポスター0回(150回)	8.52人(0.22人)	○	1.10人	サイト新設によるHP閲覧数の増、 コロナ による定住フェアのオンライン化による減
②移住希望者目線の島暮らし情報の発信	HP 閲覧数, パンフ配布数	HP44,690件(1,000件) パンフ3冊(150冊)	0.000人(0.029人)	×	0.145人	コロナ による定住フェアのオンライン化による減 ※HP 閲覧数の想定人口効果は前項で計上
③定住フェアでのPR	定住フェアの相談対応数	2回×1人(2回×12人)	0.00人(0.12人)	×	0.60人	コロナ による定住フェアのオンライン化による減
計			8.52人(0.37人)	○	1.85人	

プロジェクト2 来てもらう、滞在してもらう。

①移住相談への対応	相談対応数	140件(200件)	2.50人(3.58人)	×	17.90人	コロナ による件数の減
②-1【廃】「お試し暮らしの家」の運営	お試し居住件数	(15件)	(2.18人)		10.90人	市内の民間宿泊施設の増を受け、 お試し暮らし住宅を廃止したため、同様の移住希望者の短期滞在支援施策に変更する。
②-2【新】移住視察の係る交通費補助制度の運営	交通費補助制度利用件数	4件(15件)	0.58人(2.18人)	×	10.90人	
③リモートワーカー等の多様な人材の誘引	体験受入社(者)数	5社(者)(16社(者))	0.01人(0.05人)	×	0.25人	コロナ による来訪機会の減
計			3.09人(5.81人)	×	29.05人	

プロジェクト3 江田島市を好きになってもらう。

①フウドによる移住希望者等との縁づくり	フウドでの移住相談対応件数	136件(80件)	—(—)	○	—	※想定人口効果は「移住相談への対応」に計上
②首都圏居住者との関係性の構築・維持	東京江田島ファン倶楽部稼働会員数	274人(250人)	0.17人(0.14人)	○	0.77人	
③市外居住者へのアプローチ	(Forza エタジマ)登録者数	80人(20人)	0.012人(0.012人)	○	0.120人	
④体験型修学旅行の推進	受入人数	219人(3,300人)	1.20人(18.14人)	×	101.14人	コロナ による受入停止による減
⑤ふるさとを知る機会の確保	企画展を含む来場者数	217人(850人)	0.01人(0.05人)	×	0.29人	コロナ による企画展の中止による減
計			1.39人(18.34人)	×	102.32人	

プロジェクト4 暮らししてもらう。

①空き家バンクの運営・拡充	空き家バンク成約者数 利用登録者数(参考値)	36件(15件) 170人(—)	5.15人(2.15人)	○	10.75人	
②まちづくり人材の取組促進	(提案型補助金)補助件数	5件(8件)	0.04人(0.05人)	×	0.25人	応募数の不足による減(応募7件, 5件採択)
③まちづくり人材のつながりづくり	(実践者発表会)参加者数	0人(40人)	0.00人(0.02人)	×	0.15人	コロナ によるオンライン化による減
④移住者の定着サポート	交流者数	交流会30人(30人) フウド1,478人(2,500人)	0.18人(0.30人)	×	1.50人	コロナ によるフウドの閉館による減
⑤定住促進補助金の運営	(移住者への)補助件数	19件(15件)	0.57人(0.45人)	○	2.25人	
⑥次世代型公共交通システムの研究・実施	次世代型公共交通の利用者数の割合	—(—)	—(—)	—	—	
計			5.94人(2.97人)	○	14.90人	

【基本目標Ⅱ・想定人口効果】 令和3年度実績見込値 **18.94**人(計画値 27.49人) ▲**8.55**人

基本目標Ⅲ 子どもが生まれ、育つ環境をつくる。



○基本目標Ⅲについては、令和3年度の想定人口効果の計画値 11.80 人に比べ、実績見込値は 14.71 人であり、+2.91 人多くなっています。
 ○目標値を達成できなかった項目は、全て新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。プロジェクト3の⑤（公園の貸出）は、実績はゼロでした。
 ○プロジェクト2の学校現場の取組は、多くが目標値を上回っています。

プロジェクト1 子どもが郷土で育まれる。

	指標	令和3年度			R3~R7 合計 想定人口効果 計画値	備考（計画未達理由等）
		KPI	想定人口効果	結果		
		実績見込値(計画値)	実績見込値(計画値)			
①地域と連携した保育の実施	保育企画実施回数	21回(25回)	1.00人(1.19人)	×	7.40人	コロナによる食育講座中止の減
②島の自然などを活用した特色ある保育の展開	保育企画実施回数	20回(20回)	—(—)	—	—	※「地域と連携した保育」の内数
③祖父・祖母世帯の子育て参画の推進	孫育て検定の参加人数	1回41人(—)	—(—)	—	—	※「地域と連携した保育」の内数
計			1.00人(1.19人)	×	7.40人	

プロジェクト2 郷土でしっかりと学ぶ。

①総合的な学習の時間等における地域と連携した教育の実施	地域のゲストティーチャー招聘回数	143件(60回以上)	0.86人(0.36人)	○	1.80人	
②学校と保護者等のコミュニケーションを図る場づくり	懇談会の実施回数	各校2.2回(各校3回以上)	—(—)	×	—	コロナによる懇談会等の中止による減
③児童生徒の自己肯定感を高める体験活動の充実	体験活動の実施回数	各校5.4回(各校3回以上)	0.32人(0.18人)	○	0.90人	
④個別最適な学びの推進による教育の充実	タブレットを使用した授業の実施回数	各校週2回以上(各校週1回以上)	6.26人(3.13人)	○	15.65人	
⑤里海教育の推進	里海教育体験活動・探究活動実施回数	33回(30回以上)	0.30人(0.27人)	○	1.35人	
⑥ゲストティーチャー等を活用したキャリア教育の推進	企業等のゲストティーチャー招聘回数	21回(10回以上)	0.13人(0.05人)	○	0.25人	
計			7.87人(3.99人)	○	19.95人	

プロジェクト3 子育てしやすい環境をつくる。

①子育て情報の一元的な発信	アプリ登録者数	698人(500人)	1.04人(0.75人)	○	4.12人	
②保護者による子育て仲間（グループ）づくりの促進	イベント実施回数	26回(68回)	0.16人(0.41人)	×	2.12人	コロナによるイベント開催回数の減
③妊産婦へのケアの実施	サロン及びスクールの事業実施回数	9回(15回)	0.64人(1.07人)	×	5.35人	コロナによるスクール等の開催回数の減
④ファミリーサポートセンターの運営	会員数	35人(24人)	0.52人(0.36人)	○	1.80人	
⑤子どもが自由にのびのび遊びたくなる場所（公園・広場）の確保	（公園の）貸出数	0回(2回)	0.00人(0.89人)	×	4.45人	コロナによるイベント貸し出し希望なし
⑥通学定期補助制度の運営	制度利用者数	585人(530人)	3.48人(3.14人)	○	15.49人	
計			5.84人(6.62人)	×	33.33人	

【基本目標Ⅲ・想定人口効果】 令和3年度実績見込値 **14.71** 人(計画値 11.80 人) **+2.91** 人

基本目標Ⅳ 元気に暮らし続けられるまちをつくる。



○基本目標Ⅳについては、令和3年度の想定人口効果の計画値 8.52 人に比べ、実績見込値は 4.81 人であり、▲3.71 人少なくなっています。
 ○目標値を達成できなかった項目は、ほぼ新型コロナウイルス感染症の影響によるものです。
 ○プロジェクト1の②④（特定検診・がん検診）は、第1期総合戦略でも目標値を下回る受診率でしたが、令和3年度も目標達成に苦しんでいます。

プロジェクト1 元気なからだを保つ。

	指標	令和3年度			R3~R7 合計 想定人口効果 計画値	備考（計画未達理由等）
		KPI	想定人口効果	結果		
		実績見込値(計画値)	実績見込値(計画値)			
①健診受診勧奨サポーターの養成	健診サポーター養成人数	— (—)	— (—)	—	13.11 人	サポーター養成の準備を実施
②A I を活用した健診受診勧奨	国保特定健診受診率	26.7% (52.0%)	3.28 人 (6.39 人)	×	36.12 人	コロナによる受診控えによる減
③介護予防に関する意識啓発コンテンツの作成	(DVD) 配布枚数	— (—)	— (—)	—	14.31 人	DVD 作成に向けた調整
④がん検診・生活習慣病健診等の推進	子宮頸がん検診受診率 乳がん検診受診率	10.3% (16.0%) 7.1% (10.5%)	0.20 人 (0.30 人)	×	1.69 人	コロナによる受診控えによる減
⑤救急医療・夜間休日診療体制の確保	連携する医療機関数	4 機関 (4 機関)	— (—)	—	—	※受診者数が見込まれないため、人口効果は算定しない
⑥介護予防に関する取組	(介護予防教室) 年間参加者数	60 人 (180 人)	0.18 人 (0.54 人)	×	2.70 人	コロナによる教室の規模縮小による減
計			3.66 人 (7.23 人)	×	67.93 人	

プロジェクト2 出かけていく場をつくる。

①高齢者が人と交わることができる場の確保（サロンや子どもとの昔遊びなど）	認知症カフェの箇所数 年間サポーター養成数	2 箇所 (1 箇所) 53 人 (60 人)	0.09 人 (0.05 人)	○	0.68 人	
②男性限定版の集まる機会の確保	集まる場の箇所数	— (—)	— (—)	—	0.45 人	次年度開催に向けた調整を実施
③地域の小さな単位でのフリーマーケット開催	開催場所数	— (—)	— (—)	—	1.50 人	調整を実施するもコロナにより成立せず
④図書館における企画の充実	開催回数	1 回 (1.5 回)	0.04 人 (0.05 人)	×	0.25 人	コロナに伴う休館による減
⑤生涯学習活動の推進	講座回数	市民センター5 回 (8 回) 交流プラザ等 2 回 (1 回)	0.31 人 (0.41 人)	×	2.75 人	コロナに伴う休館による減
⑥高齢者の活躍の場の確保（シルバー人材センター）	女性会員の人数	48 人 (50 人)	0.57 人 (0.60 人)	×	4.17 人	
計			1.01 人 (1.11 人)	×	9.80 人	

プロジェクト3 みんなで支える体制をつくる。

①通いの場運営サポーターの養成	年間サポーター養成数	— (—)	— (—)	—	1.26 人	後継者の確保に向けた話し合いを実施
②高齢者に対するケア・見守り活動	見守りネットワーク登録者数	12 人 (15 人)	0.14 人 (0.18 人)	×	1.50 人	
③住民相互の送迎や乗り合わせによる移動の推進	周知回数	— (—)	— (—)	—	0.014 人	
計			0.14 人 (0.18 人)	×	2.77 人	

【基本目標Ⅳ・想定人口効果】 令和3年度実績見込値 4.81 人(計画値 8.52 人) ▲3.71 人

【基本目標Ⅰ～Ⅳ・想定人口効果 計】 令和3年度実績見込値 70.99 人(計画値 83.84 人) ▲12.85 人